

国際理解セミナー

「ワイン越しに見るイタリア・主婦の目線で見るとイタリアンライフ」を開催しました!

10月14日(火)、イタリアンレストラン YAMAKAWA にて、国際理解セミナー「ワイン越しに見るイタリア・主婦の目線で見るとイタリアンライフ」を開催しました。参加者は28名。

折しも大型台風が接近中で、まさにセミナーの開催日時その時に中部エリアを猛威のまま通過!という予報でしたので、泣く泣く参加者のみなさんに連絡を取り、場合によっては順延する旨を伝え、予備日も設けておりました。順延の際、参加できなくなってしまう方も多々いらっしゃった為、なんとかか早く通り過ぎてくれるよう祈っておりましたら、なんと参加者全員の思いが通じたのか、台風は過ぎ去り、予定日に無事にセミナーを行うことが出来ました。



【当日のスケジュール】

- 10:00~ 担当者ご挨拶
講師ご紹介
イタリアの基本情報
- 10:15~ 山川裕之さん「ワイン越しに見るイタリア」
- 11:00~ ヨーコ・エマヌエラさん
「主婦の目線で見るとイタリアンライフ」
- 11:45~ イタリアンランチ
・簡単なイタリア語講座(ヨーコ)
・イタリアの食材・ワインについて他(山川)
- 12:20~ 質問タイム
- 13:00 終了・解散



今回はこれまでのセミナーから形を変え、市内のレストランに場所を移して、食や音楽にも触れながらその国の文化に親しむ試みをしました。

講師ご紹介



《山川 裕之さん》

イタリアに4年間居住し、中部フィレンツェを皮切りに、北部から南部、町のレストランからミシュラン星付きのレストランまで、お店を5軒まわり修行をされたそうです。その経験を踏まえてワインのこと、イタリア人の気質、観光地事情や各地域の文化、イタリアの食文化などについて、興味深いお話をいただきました。

《ヨーコ・エマヌエラさん》

イタリア人の母と日本人の父を持つ。イタリア生まれ広島育ち。ミラノの音楽院で2年程作曲の勉強をしていた。そんなヨーコさんからは、イタリア女性の家事・育児日本人との共通点、音楽のこと、はたまたイタリア人のお母様が日本で起こした珍エピソードなど、笑えるお話なども混ぜてたくさんお話して頂きました。



おふたり共、それぞれの視点から色々なお話をして下さいましたが、その中でも印象的だったことをここで、いくつかご紹介いたします。



***イタリアは、“アモーレ！マンジャーレ！カンターレ！”の国。
アモーレは“愛”。Romaを逆さから読むとアモーレです。
イタリア人は愛を大切にします。
マンジャーレは食べること。
カンターレは歌うこと。
食べて、歌って、愛して。イタリア人は人生を楽しんでいます。**

***イタリアでは、トマトを収穫するとトマトソースをたくさん作り保存します。
各家庭にトマトソースの味があり、男同志でも、料理の話題はよくします。**



- *週末には市場で買い出し。チーズとハムはイタリア人には欠かせません。トマトは色々な種類があります。
イタリア人にとっては、ワインも欠かせない物です。しかし、悪酔いする人は少なく、ワインを飲みながら、おしゃべりを楽しむといった感じです。**
- *各家庭にワインセラーがありました。**
- *食事は家庭でも、一品ずつ出てきます。前菜、パスタ、メインなど、日本のように食卓にいっぺんに並ぶことはありません。大体2時間～2時間半かけて、家族のコミュニケーションを大切にしながら食事をします。**
- *トスカナの料理は味が濃い為、パンには塩は入っていないので、美味しくないです。
しかし、食事と合わせて食べると、とても美味しいのです。**
- *イタリアは、カトリックが多くとても信心深いです。教会に行くと静かな気持ちになって帰って来ます。**
- *ストライキがすごく多いです。30分遅れるのは普通。怒っても仕方ない。むしろその空間を享受して楽しめます。**
- *イタリア人はお散歩が好き。夕食後、お散歩に出て、行きつけのバーへ行ったり、カフェでエスプレッソ（フレンドコーヒーは飲まない）を飲んだり、ジェラートを食べたいします。ケーキはあまり食べません。**
- *レストランでは、エスプレッソをカウンターで飲むと安い、テーブルで飲むと値段がその5倍程します。**
- *北部はかなり寒く、バカンスはスキーに行く人が多いです。スキー場でもやはり、レストランでゆっくり食事をします。**
- *シチリアの人はとても人なつこい。うっとうしい位、くっついてくる。
たまには一人にしてくれよ(笑)、と思うほど愛を持って接してくれる。
そして魚がすごく美味しいです。**
- *サルテニアはリゾート地。ここの人は、頑固で偏屈な人が多いと言う印象。羊の肉がよく食べられます。**



*イタリアでは、赤ちゃんが生まれたら、すぐお父さんに渡します。お母さんは、出産したら3日で退院します。そして1週間したら、赤ちゃんを日光浴させます。

*イタリアは小学校が5年間。学校は9月～6月まで。7～8月はヴァカンスです。中学校は3年間。高校は5年間。飛び級があります。大学は国立大は入試はなく授業料はすごく安いです。その代り、卒業試験が非常に難しいです。

一方、音楽院などの専門になると、入試があり、また飛び級もあります。作曲家や指揮科などのコースでは、証書もらうのに10年かかるコースもあります。

*イタリア人はすごく掃除好きです。メイドが居る家庭もありますが、主婦は、毎日掃除機をかけて床を拭き、棚を拭きます。トイレも綺麗です！



*女性は、買い物に行く時など外に出る時はとてもおめかしして行きます。オシャレしたママ達がお買物をしています。いつまでも女性を忘れない可愛らしさがあるのです。

*お父さんは(みんなではありませんが)、イタリア人の働き方の一例として、お昼は家に帰って昼食をとり、お昼寝をしてから午後の仕事に出る人が少なくないです。

*イタリア人は一度買物をすると長く使います。車も買い替えが少なく、フィアットでもポンコツ・ボロボロ。一度買ったら乗り潰します。物をとても大事にするのです。

*洗濯物は、すべての物にアイロンをかけます。パンツにもアイロンをかけます。8割位の人がそうします。

*服は、ブランド品をあまり買いません。お手頃な物を上手にセレクトします。その代わり、アクセサリーは良い物を身に付けます。

*食事の際、テーブルのセッティングがきちんと決まっています。普段の家庭の食事の時でも、テーブルクロスからきちんと敷いて、テーブルセッティングをします。



*子どものおやつの中には、お菓子でなく、パンにハムとチーズを食べさせます。

パンが嫌ならフルーツを食べさせます。

親は、子どもが口にするものに慎重で、炭酸水もあまり早くからは飲ませません。

*イタリアの女性はとてもやきもち妬きです。そしてとても強いです。

*イタリアの男性は、紳士でまじめです。ちょい悪な感じが定着していますが、レディファーストをしているだけ。決してプレイボーイなわけではありません。日本人女性にはとても憧れています。イタリアに行くと、日本人女性はおもてます。

《日本との共通点》

* 食事の初めに必ず言う言葉がある。

「ボナペティート！」と一緒に食べる人に言う。「良いお食事を！」の意味があります。

* 日本人がイタリアの文化に魅力を感じているように、イタリア人も日本の文化にとっても興味を持っている。日本はイタリア人にとってアジアの中で特別な存在。あこがれの気持ちがあります。

《音楽の話》

* カンツォーネ・オペラ・バロック音楽…イタリアの音楽はレベルが高い。イタリアの音楽はこれだけでなく、イタリアンジャズというジャンルもある。音のハーモニーが心地よく、誰が聴いても気持ちいいです。

《ヨーコさんのお母様の珍エピソード》

* ヨーコさんが、小学生の頃、授業参観に来たお母さん。日本のお母さんたちは、きれいにスーツなどを来て、参観に来ましたが、ヨーコさんのお母様は、ジーパンにTシャツ、サングラスといたいでたちで、チューイングガムを噛みながら教室に入って来たそうです。そして、イタリアでは授業の合間におやつを食べるのは有りなので、お母さんは、珍しそうに見る子供たちに「ガム食べる？」とガムを配ったそうです。ヨーコさんは、それがとても恥ずかしかったそうです。

* イタリア人は、日光浴が大好きで、夏には皆ビキニを着てサンオイルを塗ってビーチに行くそうです。少し日に焼けていた方が、健康的でゴージャス、お金持ちに見えるイタリア人は思っています。

そこで、ヨーコさんのお母様。日本に来てしばらくの間、夏になるとマンションの一階の庭に出て、ビキニ姿で日光浴をしていたそうです。ヨーコさんは、それを近所の人に見られるのがとても恥ずかしかったそうです。

ランチ



お話の後、山川シェフに用意して頂いたランチを食べました。

前菜盛り合わせとラザニアとコーヒーか紅茶。そして、希望する人には、ワインのサービスもありました。

イタリアワインのラベルは、イラストが入っていることが多いそうで、ラベルを見ると一目瞭然だそうです。

イタリアでは、16歳から飲酒が認められているそうですが、最近の若者はまずビールを飲むそうです。それから、ワインを飲むそうです。

簡単なイタリア語の挨拶

ランチの後、ヨーコさんに簡単なイタリア語を教えてくださいました。

Ciao-チャオ こんにちは、さようなら両方で使える親しい間柄の挨拶

Buongiorno-フオンジョルノ おはようございます、こんにちは

Buonasera-フオナセーラ こんばんは

Buonanotte-フオナノッテ おやすみなさい

Buon appetito-フオナッペティート

良いお食事を！（日本の「いただきます」の代わりにイタリア人の食事前の決まり言葉）

Arrivederci-アリヴェレールチ さようならまたお会いしましょう

Buon viaggio-フオン ヴィアッジョ よい旅を

Grazie -グラッツィエ ありがとう

Grazie mille-グラッツィエ ミッレ 本当にありがとう！！

イタリアの文化・風習に触れ、イタリアの音楽を聴きながら
イタリア料理を味わう。

とても心豊かな時間となりました。

素敵なおふたりに、このような形で関わっていただけたことに
感謝します。

山川さん、ヨーコさん、ありがとうございました。



今回、新たな試みでやってみたこの国際理解セミナー、お蔭様で、参加者のみなさまのご感想も好評でした。今後、市内の外国のレストランで同様に出来ないか、検討いこうと思っています。

どこか良い場所があれば、是非、教えてくださいネ。

それでは、また、次のセミナーでお会いしましょう♪